

## 平成27年度人事院予算概算要求・要望の概要

人事院は、平成27年度予算の概算要求・要望をまとめ、8月29日に財務省に対して提出します。

なお、今回の要求を行うに当たっては、予算の執行実績を踏まえた既存経費の見直し、人事院行政事業レビューの点検結果の活用等により既存経費を削減した上で、新規施策の要求や既存施策の充実のための増額要求を行うこととしました。また、「新しい日本のための優先課題推進枠」において、女性国家公務員の活躍推進及びグローバル化等に対応する人材力の強化を図るための施策に関する要望も行います。

要求等の概要は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	平成26年度 予算額 (A)	平成27年度 要求額 (B)	平成27年度 要望額 (C)	要求額 +要望額 (B)+(C)
<b>人事院計</b>	11,689	11,788	24	11,812
下記の人給システム以外	8,871	9,089	24	9,113
人事・給与関係業務情報システム(人給システム)	2,817	2,699	—	2,699

(注)・ 四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

- ・ 府省共通システムである人事・給与関係業務情報システムは、担当府省である人事院が各府省の要求枠を用いて一括要求を行うもの。

## 1 主な概算要求項目

### ○ 国家公務員採用試験の実施 27,460万円

平成24年度から開始した新たな採用試験（総合職試験、一般職試験、専門職試験及び経験者採用試験）を確実に円滑に実施します。

### ○ 行政研修の実施 10,982万円

各府省の行政運営の中核となることが期待される職員を対象に、国民全体の奉仕者としての使命感の向上、行政官として求められる資質・能力を向上させること及び国家公務員として互いに協力連携するための信頼関係を醸成することを基本的な目的として、行政研修を実施します。

### ○ 人事・給与関係業務情報システムの保守・運用 269,914万円

人事・給与関係業務情報システムについて運用・保守業務を着実にを行うとともに、同システムが更に安定・確実なものとなるよう必要なシステム改修を行います。

## 2 「新しい日本のための優先課題推進枠」による要望事項

### ○ 女性国家公務員の活躍推進 737万円

女子学生を対象とした採用啓発活動を強化し、有為な人材の公務への誘致を図るとともに、女性職員の登用促進に資するため、意欲と能力のある女性職員にマネジメント能力開発等の機会を付与する研修を実施します。また、仕事と育児、介護等の両立支援を推進するため、シンポジウムやセミナーを実施します。

### ○ グローバル化等に対応する人材力の強化 1,670万円

行政課題の国際化の進展に対応し得る人材力の強化を図るため、在外研究員（短期）制度の一環として国際機関コースを設け、国際的な人的ネットワークの構築や国際交渉能力の高い人材の育成等を行います。

## 3 主な組織・定員要求

人事院における定員合理化計画(\*)に基づいて定員合理化（13人）を行った上で、女性国家公務員の活躍推進などの施策の充実等のための増員要求（14人）を行います。

(\*)平成27年度以降の5年間で、平成26年度末定員(一般職630人)の10%を合理化。